

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 388 事業名 結核予防関係事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		結核予防費	
	大事業		結核予防事業	
	事項		結核予防関係事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
取組	1	結核・感染症の予防及びまん延防止の推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	坂東貞次 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か	事業内容				
	・結核の予防及び蔓延防止の推進、また結核患者の適正な医療の普及を図り、市民を結核から守り安心して生活を送れる環境を作る。	○結核患者が適切な医療を受け、確実に治癒することを支援する。 結核患者の服薬支援 (家庭訪問、面接等)、結核患者の管理検診 (服薬終了後再発の早期発見のための検診)、感染症診査協議会 2回/月、DOTSカンファレンス (国立和歌山病院、神田病院)、コホート検討会 ○家族や接触者の感染や発病の予防および早期発見のための疫学調査を行い、健康診断を実施し 健康管理を図る。 結核患者と接触のあった者の健康診査 (家族、その他) <small>(結核患者より早期に発見し、早期治療に結びつけることによる再発や重症化の予防)</small>				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		1・接触者健診対象者: 685人 受診者: 604人 ・市民及び医療機関等に向けチラシ配布	1・接触者健診対象者: 1,347人 受診者: 1,254人 ・市民及び医療機関等に向けチラシ配布	1・接触者健診対象者: 1,102人 受診者: 1,007人 ・市民及び医療機関等に向けチラシ配布		1,102人 受診者: 1,007人
		2 65歳以上の和歌山市民を対象に胸部エックス線検査を実施 (検診車受診者 1,859人)	2 65歳以上の和歌山市民を対象に胸部エックス線検査を実施 (検診車受診者 1,409人)	2 65歳以上の和歌山市民を対象に胸部エックス線検査を実施 (検診車受診者 930人)		
		3 訪問看護師による服薬支援 (訪問等) 32人に対し延362回実施	3 訪問看護師による服薬支援 (訪問等) 38人に対し延435回実施	3 訪問看護師による服薬支援 (訪問等) 46人に対し延278回実施		
		4 定期健康診断実施費用の一部補助 (28施設)	4 定期健康診断実施費用の一部補助 (21施設)	4 定期健康診断実施費用の一部補助 (22施設)		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	11,622	11,160	12,398	13,210	12,503	11,943	19,710		19,710		
	伸び率 (%)	-	-	6.7%								
	人件費	常勤職員	37,114	25,517	37,114	34,215	37,114	32,132	37,114		37,114	
		非常勤職員	2,391	2,277	2,391	1,817	2,391	3,960	5,211		2,391	
		小計	39,505	27,794	39,505	36,032	39,505	36,092	42,325		39,505	
	国庫支出金	2,792	2,181	2,558	4,056	3,228	4,442	7,727		7,727		
	県支出金											
	市債											
その他	12	8	11	1	11	11	37		37			
一般財源 (税等)	8,818	8,971	9,829	9,153	9,264	7,490	11,946		11,946			
所要人数	常勤職員	4.84	3.33	4.84	4.52	4.84	4.25	4.84		4.84		
	非常勤職員	1.17	1.11	1.17	0.72	1.17	1.75	2.55		1.17		

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	接触者健診受診率	年度目標値				100	100	100	100	100	
		実績値				88.2	93.1	91.4			
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	91.4%	年度別達成度	88.2%	93.1%	91.4%	
	喀痰塗抹陽性患者面接率	年度目標値				100	100	100			
実績値					100	100	100				
単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	結核罹患率 (人口10万対)					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	年度目標値					24	23	22	21	20	
		実績値				23.5	22	28.2			
	単位	人口10万対	全体目標値	20	全体目標達成度	70.9%	年度別達成度	97.9%	95.7%	78.0%	
	年度目標値										
実績値											
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価(所属長記載) B
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	法定受託事務のため、現状のまま維持継続する。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・結核患者の治療を確実にを行うことを目的とし服薬支援の強化を図るため、平成24年度より直接服薬の支援を行うDOTSの訪問看護師を1人から2人体制に強化をした。 ・高齢者の健康診断の勧奨を強化するため、住民健診のお知らせを市報わかやま5月号に掲載し、今後も実施期間中は隔月に掲載を予定するとともに、平成24年5月1日に高齢者・地域福祉課をはじめ関連機関にチラシ配布の協力を依頼した。また、住民健診のお知らせや啓発用のリーフレットを支所や連絡所及びサービスセンターに設置したり、自治会や老人会の協力を得るなど啓発の強化を図っていく予定。